

RICOH REPORT

2017

夏号

Contents	1	トップインタビュー
	5	ニュースリリース
		▶新たに長期的な環境目標を設定
		▶360°撮影・ツアー制作受託サービスの提供開始
	6	株主様インフォメーション
裏表紙		株主メモ、IRメール配信登録のご案内



山下社長に聞く

RICOH再起動

—第19次中期経営計画—

代表取締役 社長執行役員・CEO

山下 良則



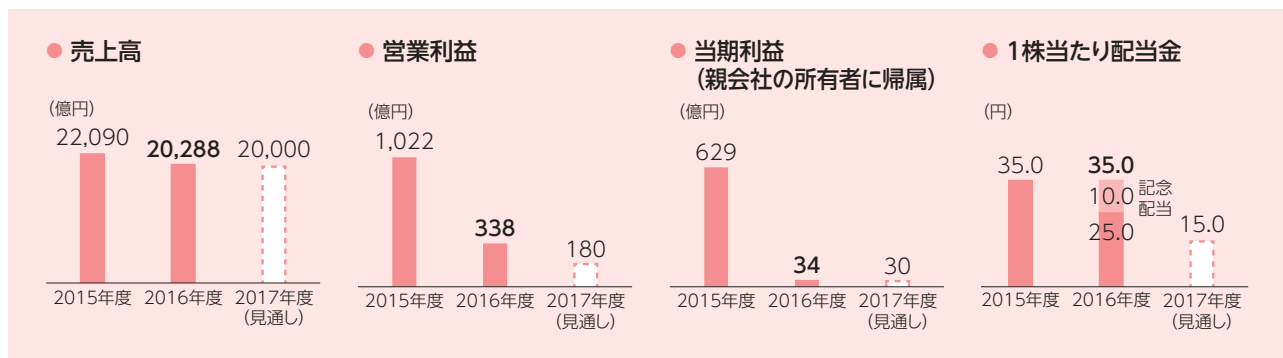
2016年度の実績や事業別の取組みについて教えてください。

売上高は、成長領域の産業分野とその他分野は堅調に推移した一方、画像&ソリューション分野の減収と為替影響により減収となりました。営業利益は将来の事業成長に向けた構造改革に着手したことによる費用増加、カメラ事業の減損損失やインド関連費用等により減益となりました。当期利益についても、営業減益に伴い減益となりました。

事業別の主な取組みとしては、オフィスイメージングで

は、主力の複合機において、お客様への価値提供をさらに高める新プラットフォームを採用した新製品を発売しました。プロダクションプリンティングでは、ハイエンド機種ごとの提案活動を拡大しました。加えて、お客様との接点となる「RICOH Customer Experience Center (リコーカスタマーエクスペリエンスセンター) TOKYO」を開設しました。産業分野では、リコーグループが培ってきた技術を強みとするインクジェット事業が増収となり、

インダストリアル事業も車載向け製品が増加しています。引き続き需要拡大が期待できる分野であり、お客様に対する価値提供を拡大していきます。



● 分野別売上高

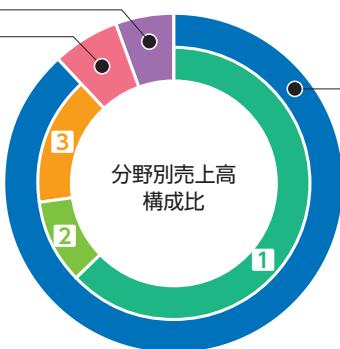
売上高 構成比 対前年度伸び率

● その他分野

1,119億円 5.5% +2.7%

● 産業分野

1,248億円 6.2% -0.5%



● 画像&ソリューション分野

17,920億円 88.3% -9.2%

1 オフィスイメージング

12,748億円 62.8% -11.0%

2 プロダクションプリンティング

2,062億円 10.2% -7.9%

3 ネットワークシステムソリューション

3,109億円 15.3% -2.4%

Q2 新社長としての所信や大事にしていることを教えてください。

『リコーグループの常識や前例にとらわれることなく、新たなスタートを切りたい』と考えています。世界金融危機以降、当社は皆さまの期待に応えられる業績回復ができていません。我々が軸足をおくオフィス向け画像機器事業においては、市場が伸び悩む中で競争が激化し、厳しい環境にあります。当社は創業からこれまで創業の精神である『三愛精神』（人を愛し、国を愛し、勤めを愛す）を拠り所として、「人と情報の関わりの中で新しい価値を提供すること」で事業を拡大し、また幾多の危機を乗り越えてきました。

三愛精神をグループの礎とした、経営の原理原則は、お客様ファーストであるべき、というのが私の信条です。常にお客様を中心において、お客様の未来を想像し、お

客様に感動いただける商品やサービスを追求するところに、イノベーションが生まれ、新しい市場が創造できるものと信じています。私は国内外のモノづくり部門を長く歩み、直近で経営戦略、新規事業、そして現在のマーケティング・販売統括部門を担当してまいりました。

いま自信を持って申しあげることができるのは、『問題は現場で起こっている。その答えも現場にある。会議室では解決できない』ということです。従ってこれまで同様、自ら『現場』に赴き、『現物』を確認し、『現実』を認識することで課題の本質を掴んでいこうと考えています。リコーはこれからも『現場を大事にする会社』であり続けたいとの強い信念を持っています。

Q3 社長就任と同時に発表された第19次中期経営計画について教えてください。

2017年3月に終了した第18次中期経営計画においては、事業戦略の展開に加えて、継続的な事業構造改革の取り組みを進めてまいりましたが、想定以上の事業環境の急激な変化や、欧州経済の不透明感の拡大、新興国経済の減速、為替レートの変動などの経済環境の変

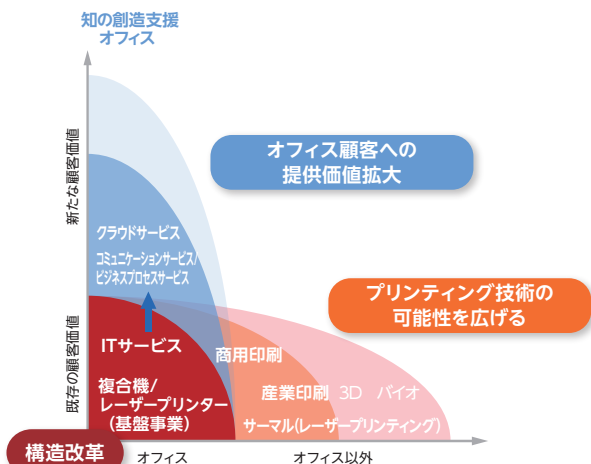
化などの影響を受け、残念ながら第18次中計で掲げた財務目標を達成することができませんでした。この結果を真摯に捉えて、2017年度からスタートする第19次中期経営計画では、「RICOH再起動」を中計のキーワードとして、トップダウンでやり抜く「構造改革」、事業を絞

り込み競合他社に勝てる戦略展開を徹底する「強みを軸とした成長事業の重点化」を柱に掲げ、確実に実行してまいります。

構造改革は、早期の効果創出を目指し、可能な限り施策の前倒しを進めながら2017年度に構造改革をやりきるべく取り組みます。成長事業の重点化では、自社の強みを再定義し、絞り込んだ上で、その強みに立脚して成長を目指します。オフィス市場においては、全世界に広がるお客様基盤を有していることがリコーグループの強みと認識しています。これらのお客様に対して、ワークフローを改善し、業務生産性向上を実現する製品・

サービスを提供していきます。加えて、リコーグループがこれまで培ってきたプリンティング技術の強みを生かして、版を作成するオフセット印刷から版が不要なデジタル印刷への移行を進める商用印刷、インクジェット技術を生かす産業印刷などにも力を注いでまいります。

従来のオフィスを対象にしたビジネスから、現場（ワークプレイス）に対するビジネスを新たな成長機会と捉え、モノ+コトだけでなく、そこに分析（アナリティクス）を加えていく。人に焦点を当て、個人、組織に活力を与えたいと考えています。そして、事業を通じて社会課題解決に貢献すべく、提供価値をさらに広げていきます。



■ RICOH再起動 財務目標

構造改革 効果	1,000億円以上
2019年度 営業利益	1,000億円以上
3年間合計 FCEF*	1,000億円以上

*FCEF:ファイナンス事業を除くフリー・キャッシュフロー

新たに長期的な環境目標を設定

新たな中期経営計画のスタートにあたり、温暖化防止分野と省資源分野で2030年目標を設定し、さらに2016年に発行したパリ協定を踏まえ、2050年には温暖化防止分野で自社排出の温室効果ガス排出ゼロを目指します。

また、再生可能エネルギー活用については、国際的なイニシアチブであるRE100^(*)にも日本企業として初めて参加いたしました。目標達成に向けては、「リコーグループ環境宣言」を掲げ、徹底的な省エネ活動を進めるとともに、再生可能エネルギーを積極的に活用していきます。

(*)RE100:事業に必要な電力を100%再生可能エネルギーで調達することを目標に掲げる企業が加盟する国際イニシアチブ。

360°撮影・ツアー制作 受託サービスの提供開始

リコーと、LIFE STYLE株式会社は業務提携し、不動産業向けを皮切りに「THETA 360.biz」の360°撮影・ツアー制作の受託サービスを開始します。THETA 360.bizは室内の様子などを360°の全天球で撮影し、Webサイト内に、室内の全天球画像を表示できます。このサービスの一部を受託することで、お客様の業務負担を軽減することを目的としています。

本サービスで使用するRICOH THETA S



● 2016年度下期株主優待イベントのご報告

当社に対するご理解を深めていただくため、株主の皆様とのコミュニケーションを図る企画を開催いたしました。



第61回リコーフィル演奏会【抽選】

よかった **94.0%**

2017年2月5日、リコーフィル定期演奏会に536名の株主の皆様にお越しいただき、2時間にわたるオーケストラの演奏をお楽しみいただきました。



上記の他、「市村自然塾見学会ご招待【抽選】」も実施いたしました。

※株主の皆さまからいただきました数々の貴重なご意見を参考に、より良い優待イベントへと改善してまいります。



カメラセミナーご招待【抽選】

よかった **100.0%**

2017年3月18日、18名の株主の皆様にご参加いただき、カメラセミナーを開催しました。デジタル一眼レフカメラの機能や使い方の練習後、撮影した写真の講評を行いました。



● 配当金の考え方について(第19次中期経営計画株主還元方針)

当社は、企業体質の強化及び新たな事業展開のための内部留保の充実を図るとともに、株主の皆様への利益還元に当たっては、中期的な利益見通しおよび投資計画、キャッシュ・フロー、財務体質などを総合的に勘案したうえで、安定的な配当に努めます。内部留保資金につきましては、基盤事業の更なる強化と中・長期的視野に立った成長事業分野への重点的な投資に活用してまいります。この方針に基づき、2017年度の配当金見通しは1株当たり15円といたしました。

● 株主優待のご案内

2017年度の株主優待として以下のとおりにご案内させていただきます。【基準日：2017年3月末／9月末】

I 単元(100株)以上保有の全株主様にお送りするもの

		3月末(権利確定)		9月末(権利確定)	
		100株以上1,000株未満	1,000株以上	100株以上1,000株未満	1,000株以上
優待品	壁掛けカレンダー			○	

発送時期：12月上旬から中旬(順次)

II 単元(100株)以上保有の株主様にご応募いただけるもの【抽選】

企画名	3月末(権利確定)		9月末(権利確定)	
	100株以上1,000株未満	1,000株以上	100株以上1,000株未満	1,000株以上
リコーフィル演奏会*1		○(ペア250組500名様)		○(ペア250組500名様)
市村自然塾見学会		○(15名様)		
カメラセミナー*2		○(20名様)		○(20名様)
ラグビー観戦チケット	○(ペア500組1,000名様)			
日本科学未来館 常設展示招待券	○(ペア1,500組3,000名様)			
「リコー関連・協賛イベント」グッズ				○(抽選)

ご案内時期：6月初旬【招集通知に同封】

12月初旬【RICOH REPORT冬号に同封】

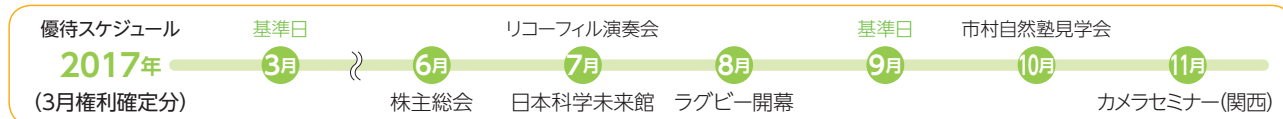
*1：会場等の状況により、ご招待数が変動いたします。

*2：3月末(権利確定)は関西開催、9月末(権利確定)は関東開催

III 全株主様へご案内するもの

●リコーイメージング(株)製品(カメラ等)やリコーエレメックス(株)製品(時計等)の優待販売

ご案内時期：株主総会決議通知(6月下旬)およびRICOH REPORT冬号(12月初旬)とともに年間2回ご案内いたします。



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
単元株式数	100株
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
株主名簿 管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL (0120) 782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社 の全国各支店で行っております。

●住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、特別口座にて株式を管理されていらっしゃる株主様は、特別口座の
口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

●未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

●「配当金計算書」について

配当金お支払いの際送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法
の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その
添付資料としてご使用いただくことができます。
ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては
は、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際
の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。
なお、配当金領収証にて配当金をお受取の株主様につきましても、配当金
のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告
をなされる株主様は大切に保管ください。

IRメール配信登録のご案内

株主の皆様へ決算情報やニュースリリース、
その他のIR情報を電子メールでお知らせして
おります。


ご希望の方は、当社IRサイトよりご登録の手
続きをお願いいたします。

※本サービスは携帯電話メールには対応していません。

ご登録方法

- 1 「リコー IR」で検索し、
IRトップページへ

リコー IR

- 2 こちらの 
「登録」ボタンよりご登録く
ださい。



株式会社リコー



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

